

石油事業

PETROLEUM BUSINESS

石油製品の製造・販売部門として
世界水準の安定操業、お客様への
安定供給を進めています。



コスモ石油株式会社
代表取締役社長
鈴木 康公

コスモ石油マーケティング株式会社
代表取締役社長
森山 幸二

事業概要

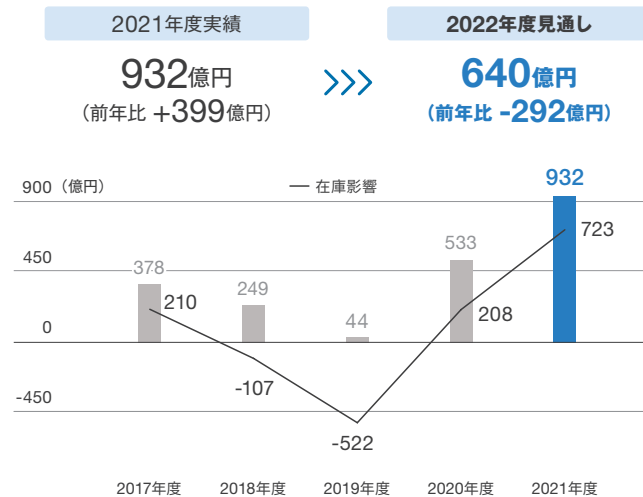
石油事業は、コスモエネルギーグループの中核会社であるコスモ石油にて、主に原油調達から石油製品の製造・物流・輸出入を行っています。同じく中核会社であるコスモ石油マーケティングでは石油製品を含めたグループ商品を法人・個人のお客様へ販売しています。

2021年度実績・2022年度見通しについて

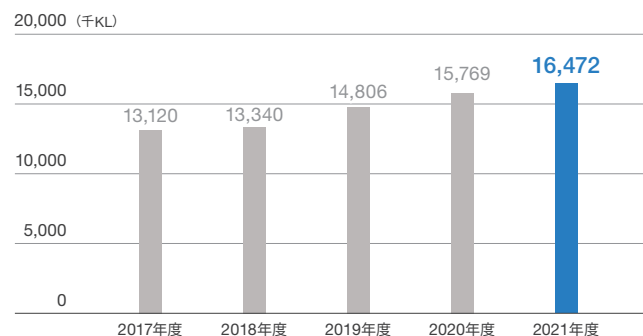
2021年度は原油価格の上昇に伴う石油製品のマージン良化、新型コロナウイルス感染症の影響からの回復による販売数量の増加、製油所の高稼働の維持により、在庫影響を除く経常利益は932億円（前年比+399億円）となりました。

2022年度は新型コロナウイルス影響の軽減によりジェット燃料の需要回復を見込む一方、前期に発生した原油価格の上昇に伴う四品マージンのプラスのタイムラグの影響解消などにより、在庫影響を除く経常利益は640億円（前年比-292億円）を見込んでいます。

経常利益（在庫影響除き）



四品販売数量



※四品は石油製品における主要四品（ガソリン、灯油、軽油、A重油）

識別したリスク

- 原油価格および原油調達に関するリスク
- 石油製品の価格および需要に関するリスク
- 製油所等設備の事故、漏洩に関するリスク
- 急速な環境変化に伴う事業継続リスク
- 棚卸資産の収益性の低下による簿価切り下げに関するリスク

機会

- 世界的に加速するカーボンニュートラルの流れ、脱炭素社会への対応（EV化、グリーン電力、新燃料への取り組み）
- 新型コロナ水際対策緩和によるジェット燃料の需要回復
- CASEの動向（モビリティ供給、整備など）
- 顧客動向の変化、デジタル化、キャッシュレス決済の拡大

強み

- 需要減少の環境下、製油所の高稼働を維持（キグナス石油への燃料供給に伴う供給ショートポジション）
- 顧客とのつながり強化、特約店パートナーとのつながり
- ブランド商品開発（コスモMyカーリース、コミット車検、コスモでんき、やさしいカーシェア）
- 高い顧客満足度、決済手段の多様化、ブランディング活動を中心とする価値創造

事業戦略

石油事業では、ロシアによるウクライナ軍事侵攻、中東産油国の周辺地域における政情不安定化により原油価格および原油調達において影響を受けるリスク、新型コロナウイルス感染症などの影響による一般消費者の動向変化により石油製品価格および製品需要が左右されるリスク、製油所・SS・物流における事故、漏洩に関するリスクなどを認識しています。

一方、事業における機会として、世界的に加速する脱炭素化の流れを受け、EVシフトやグリーン電力の拡大、SAF^{※1}などの新燃料の開発・展開、CASE^{※2}やMaaS^{※3}などデジタル化の加速やキャッシュレス決済の拡大など顧客動向の変化への対応、そして新型コロナウイルス感染症の水際対策緩和により、ジェット燃料の需要回復などがあげられます。

石油精製における当社グループの強みとして、燃料油需要が減少となる中、キグナス石油への燃料供給開始により供給ショートポジションとなったため、製油所において高稼働を維持できる点があげられます。石油販売においては、多様な顧客ニーズに対応するブランド商品開発により、他社に先駆けた価値の提供をしていることが強みです。「カーライフスクエア」アプリの開発、累計96,000台を突破した「コスモMyカーリース」など、カーライフの多様化に対応しています。また、電力小売りにおいては、グリーン電力の需要が高まる中、コスモエコパワーが発電する風力電源に紐づく実質再生エネルギー電力を提供できる強みがあります。再エネとEVをワンストップで提供できる「コスモ・ゼロカボソリューション」もリリースを行い、地域の特約店と一体となって法人、自治体の脱炭素への取り組みを支援しています。

国産SAFの商用化および普及・拡大に取り組む有志団体「ACT FOR SKY」に加盟



※1 SAF:Sustainable Aviation Fuel 持続可能な航空燃料。主に植物などのバイオマス由来原料や、飲食店や生活の中で排出される廃棄物・廃食油を原料として生産され、化石燃料と比較して二酸化炭素の排出量を削減可能な燃料。

※2 CASE:Connected（コネクテッド）、Autonomous（自動運転）、Shared & Service（シェアリング・サービス）、Electric（電動化）の頭文字を元にした造語

※3 MaaS (Mobility-as-a-Service) :従来の交通手段・サービスに、自動運転やAIなどのさまざまなテクノロジーを掛け合わせた次世代の交通サービス



中計の取り組みと成果

石油精製事業

安定操業による高稼働の維持

当社グループは、第6次連結中期経営計画の主な施策であるキグナス石油への燃料供給を2019年度から開始しています。その後発生した新型コロナウイルス感染症により、国内の燃料油需要は急激に減少しましたが、当社グループはキグナス石油への燃料供給開始により、供給ショートポジションとなったため、製油所の稼働を落とすことなく対応することができました。石油業界の再編が進む中、統合による規模拡大ではなく、需要と供給のバランスを重視した戦略が功を奏したと考えています。

IMO（国際海事機関）は2020年1月より、船舶用燃料に含まれる硫黄分を3.5%から0.5%まで引き下げる環境規制の強化を行ったことにより、高硫黄C重油から、規制に適合する低硫黄C重油へ需要がシフトしております。当社グループは規制適合油の安定供給に対応するため、千葉製油所の直接脱硫装置を最大限活用することに加え、堺製油所において2019年にコーカー装置の能力増強を

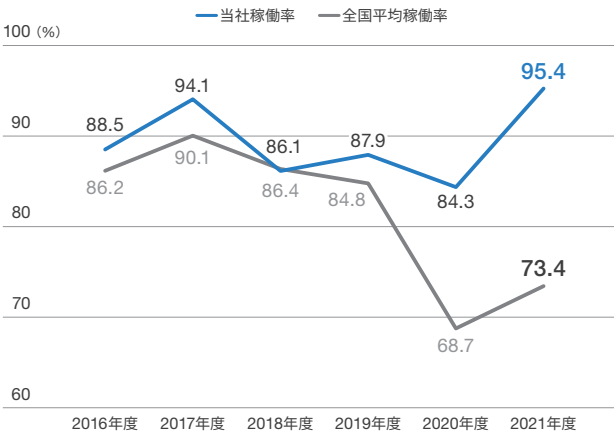
行いました。この結果、高硫黄C重油を生産しない体制（ボトムレス化）を構築し、収益油種の増産も可能になりました。

また2021年4月には、千葉製油所が、2022年8月には四日市製油所がそれぞれ特定認定事業者（スーパー認定事業者）に認定されました。安全、安定操業を継続するため、専門人材の育成強化、高度なリスクアセスメントの実施、先進技術の実装等により、保安活動を推進していきます。

2022年6月より、新型コロナウイルス感染症の水際対策緩和による訪日客の受け入れ再開に伴い、今後国際線の旅客便の発着数は増加が見込まれております。そのためジェット燃料は前年比で需要が増加することが想定されます。

今年度も当社グループの製油所はフル稼働を計画しており、今後も一定程度の需要減少に対しては競争優位性である供給ショートポジションを活かし、高い稼働率を維持できる見通しです。

製油所稼働率（CDベース）



スーパー認定事業者に使用が認められる「スーパー認定マーク」



堺製油所コーカー

石油販売事業

カーライフ事業の拡大

当社グループは第6次連結中期経営計画において、カーライフ事業の拡大を志向し燃料油販売事業との好循環を創出していく方針を掲げました。燃料油需要や労働人口の減少を受け、石油事業におけるカーライフ・モビリティを取り巻く環境は急速に変化しています。また、デジタルデバイスの普及に伴うライフスタイルの変化、CASEやMaaSなど、カーライフにおけるデジタル化はますます加速しています。

当社グループはデジタル化への対応として「カーライフスクエア」アプリを開発し、2019年8月からサービスを開始しました。サービスの開始以降、多くのお客様にご支持をいただき、2022年3月末時点の累計ダウンロード数は約472万件となっています。さらに2022年2月からは一枚のQRコード[※]を提示するだけで燃料油代金の支払いができるアプリ決済サービス「コスモSS Pay」の提供を開始しました。自社のスマートフォンアプリへの決済機能の搭載は、石油元売業界で初の取り組みです。新たな決済手段として株式会社NTTドコモが提供する「d払い[®]」にも対応し、ますます便利になっています。お客様とのつながりを強化していくことで、「Oil & New」の「Oil」におけるガソリン販売にも寄与しています。今後ともお客様の利便性向上を図り、当社のプラットフォームとしてアプリを展開してまいります。

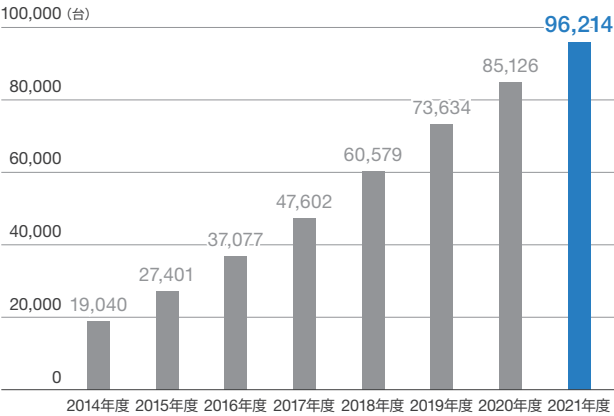
販売開始から現在まで多くのお客様に好評をいただいている「コスモMyカーリース」は、2022年3月末時点で累計契約台数96,000台を突破しました。車両販売の専門店として「コスモMyカーリースSTORE」を全国で304店舗展開し、引き続きカーライフの多様化に対応していきます。

電力小売り事業では、2019年度より家庭用電力「コスモでんき」、2019年12月より「コスモでんきグリーン」の販売を開始しました。さらに2020年10月からは法人向けに「コスモでんきビジネス」および「コスモでんきビジネスグリーン」の販売を開始しています。2021年9月からは法人や自治体の脱炭素化への取り組みに向けて再生可能エネルギーおよびEV等の導入をワンストップで提供する「コスモ・ゼロカボソリューション」の販売を開始しました。地域の特約店と協力をして、法人や自治体へ提案を進めています。

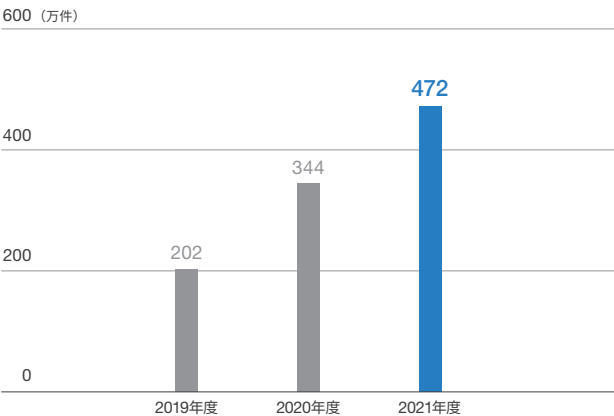
今後も当社グループはお客様とのつながりを強化するとともに、社会の変化に対応し、お客様のカーライフ・モビリティやホームライフを支えられるよう、ブランド商品の開発および展開を継続してまいります。

[※]QRコードはデンソーウェーブの登録商標です。

コスモMyカーリース累計契約台数



カーライフスクエアダウンロード件数



コスモ・ゼロカボソリューション

